

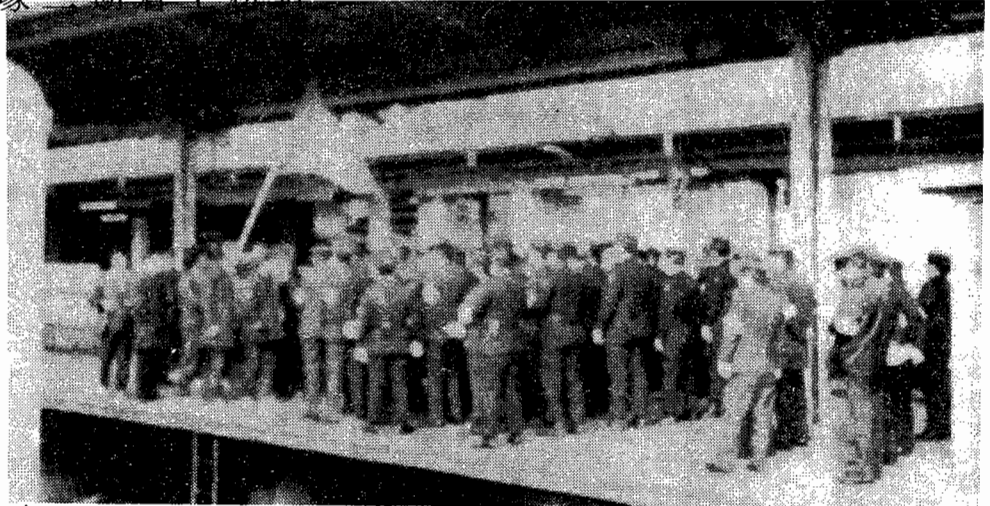
国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二二七二〇

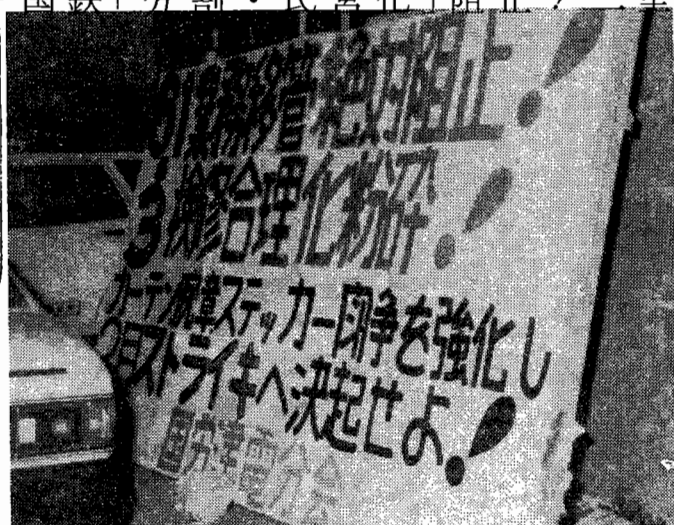
動労千葉・国労千葉共に起つ

闘争速報 ③ 津田沼

業務移管粉砕！線見阻止闘争は、大弾圧体制をうち破つて、二月四日以降連日、全支部からの総力動員をもって、我孫子・成田、錦糸町・千葉、津田沼において激しく闘いぬかれています。線見を実力阻止し、怒りの第二波ストへ！



▲ホーム上、運転席に近づかせまいと4重・5重のピケをはる公安・白腕。左端が動労千葉。(津田沼駅)



▲カーテン、腕章、マイク、ステッカー、リボン闘争を向いつ、線見阻止行動で陣取った動労千葉の仲間たち。

駅構内・庁舎あらゆる場所、両組合員が怒りの糾弾

午前中より、七〇名をこす公安・白腕が庁舎に入り、独自判断と称する機動隊も構内をはいかいする。津田沼駅にも一〇〇名をこす公安・白腕が配置されるという大弾圧体制のなかで、十二時十五分より六〇名をこえる組合員が職場に結集し、怒りの決起集会を開催した。同じ時刻、国労津電分会の仲間たちも構内で抗議集会を開催、終了後、共に津田沼駅四、五番ホームにくりだした。十三時二三分、三〇名をこす公安・白腕を添乗させ、防衛された線見列車が到着、すさまじい怒りのシュプレヒコールが叩きつけられた。



▲糾弾の嵐の中、10倍もの公安・白腕にとり回まれて、消沈のまま構内から出た中野乗務員。



▲裏切者の線見電車(出区中)に職場の怒りは著えだしている。(午前、動労千葉、先頭) 全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

平日 (24~28 除く休)	1210B	△	13:23
	1511B	○	15:20
休日 (29, 11, 16, 23)	1300C	△	15:09
	1645C	○	16:37



▶ホームに到着した線見電車内の裏切者を徹底的に糾弾(津田沼駅)

このあと全部隊は、直ちに電車区にとつて返し、入区線で列車をまちかまえ、顔面そう白となって乗ってきた線見乗務員(中野電車区指導)に、さらに徹底的な糾弾の嵐を叩きつけた。さらに、庁舎内、出区線で二時間におたり断固たる線見阻止行動を展開し、全く理不尽極まりない業務移管に対する労働者の怒りのすさまじさをみせつけた。最後に、全体で総括を行い、明白から一カ月連日闘争に決起することを誓い合つて初日の闘いを終了した。(2月4日)